

第4学年 外国語活動学習指導案

平成31年2月15日(金) 第5校時

活動場所 教室

指導者

外国語活動支援員

1 単元名 . Let's try 2 Unit 7 「What do you want ?」

2 単元について

(1) 児童の実態

(2) 教材観

本題材は、食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり、要求したりする表現に慣れ親しむことがねらいとなっている。身近にある食材の中で、外来語として普段使っている表現に似ているものがあることに気付いたり、今まで学んだことのない食材の語彙を増やしていくことのできる教材である。また、これまでの学習で慣れ親しんだ表現や、「欲しい」という自分の気持ちを相手に伝えるやりとりを通して、言葉でコミュニケーションをとることの楽しさを経験することのできる教材である。

(3) 指導観

単元全体を通して、今まで学習したフレーズや、新しく学習する「I want ~.」「please」等を使い、自分の思いが伝えられる場面を設定し、思いを表現する楽しさを実感させたい。始めは、教師と児童全体で、その後教師と代表児童で、最後に児童同士と、スモールステップをふむことで、まずは聞く力を育て、そこから話す活動へと発展させていきたい。帯活動で行ってきた Word book でも、この単元で出てくる表現だけでなく、既習の Do you like ~? What's this ? How many ~? などを使って、やりとりを楽しませたい。また、食材の語彙を増やすことにも Word book を活用していきたい。授業の終わりには学習の価値づけを行い、何を学べたか、また、学んだことが今後どのようなことに生きるのかを一人一人が振りかえられるようにする。言語だけでなく、外国の人々や文化等にも興味を広げ、他文化を認め尊重する心も養えるようにしたい。これからの国際社会を積極的に生きるための基礎の育成を目指したい。

3 単元目標

- ・食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。
- ・欲しい食材など尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合う。
- ・相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介する。

4 単元の評価規準

- ・自分の欲しいものを言ったり、友達の欲しいものを聞いたりしようとしている。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・「What do you want ?」「I want ~.」「Please」を中心に、既習表現も使用しながら、欲しい食材を尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しんでいる。

【外国語への慣れ親しみ】

- ・食材の言い方や、世界の市場と日本の市場を比べて似ている所や違いに気付いている。

【言語や文化に関する気付き】

5 研究主題との関連

研究主題：豊かな言語活動を楽しみ、主体的に学ぶ子の育成

学習指導要領の改訂に伴い、主体的・対話的で深い学びの実現が求められている。本学級でも、各教科で学び合い活動を取り入れ、考えを共有し、広め、深め、高め合える児童の育成を行っている。本時は、「欲しい」という表現を、児童の身近にある場面を設定し、視覚的なヒントや、分かりやすいジェスチャーを取り入れながらつかませていく。まずは場面をとらえながら「聞く」ことを中心に行い、その後、自分の思いを「話す」ことへつなげることで、主体的に、対話的に学ぶ児童の育成をはかっていく。

6 単元の計画（第1時/3時間）

	活動内容	活動のねらい	使用表現・語彙	評価規準
第1時	<ul style="list-style-type: none"> 歌 (Clap your hands) Word book 「Please」「I want ～」の使い方を知り、自分の欲しいアイスクリームを注文する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい歌を聞き、意味を理解しながら歌う。 「Please」「I want ～」など、自分が欲しい時の言い方に慣れ親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> Do you like ～? How many ～? What ○○ do you want ? I want ○○. Please Here you are. Thank you. 	<ul style="list-style-type: none"> 「What do you want ?」「I want ～」「Please」を中心に、既習表現も使用しながら、欲しいものを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 【外国語への慣れ親しみ】
第2時	<ul style="list-style-type: none"> 歌 (Clap your hands) Word book Let's watch and Think 友達と果物カードをやりとりし、オリジナルパフェを作り、グループで紹介する。 Let's Listen (オリジナルパフェで) 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な食材の言い方を知る。(果物等) 世界の市場と日本の市場を比べ食材の違いに気付く。 オリジナルパフェを作るために、自分の欲しい果物を伝えられる。 誰がどんなパフェが好きか聞き取る。 	<ul style="list-style-type: none"> What ○○ do you want ? I want ○○. Please Here you are. Thank you. I like ～. 	<ul style="list-style-type: none"> 食材の言い方や、世界の市場と日本の市場を比べて似ている所や違いに気付いている。 【言語や文化に関する気付き】
第3時	<ul style="list-style-type: none"> 歌 (Clap your hands) Word book 相手の好きなものを入れたピザを作り、プレゼントする。 Let's Listen 2 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な食材の言い方を知る。(野菜・魚介類等) 相手に配慮しながら、相手の欲しいものを尋ねたり、自分の欲しいものを言ったりする。 聞きなれた食材と、文字をアルファベットを聞いて結びつける。 	<ul style="list-style-type: none"> What ○○ do you want ? I want ○○. Please How many ～? Here you are. Thank you. 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の欲しいものを言ったり、友達の欲しいものを聞いたりしようとしている。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

7 本時のねらい

「What do you want ?」「I want ～」「Please」を中心に、既習表現も使用しながら、欲しい食材を尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 【外国語への慣れ親しみ】

8 本時の展開

活動内容	児童の活動	ティームティーチング		○指導上の留意点◎教材・機材 ◆評価の観点と方法	
		担任の活動	支援員の活動		
1 あいさつ (2分)	<p>HRT : Hello.Everyone. C : Hello. ○○先生 and ○○先生. HRT : How are you ? C : I'm ○○, thank you. And you ? HRT : What date is it ? C : It's February 15th. HRT : What day is it ? C : It's Friday. HRT : How is the weather today ? C : It's ○○. HRT : What time is it ? C : It's ○○.</p>				
	・挨拶をし、自分の気持ちや曜日、日付、天気、時間を確認する。	・笑顔であいさつし、日付、曜日、天気、時間を尋ねる。	・児童と共に発音を繰り返す。	○明るい雰囲気英語でのやり取りを楽しませる。	
2 歌 Clap your hands (10分)	・新しい歌を歌うことを知る。 ・HRT の歌を聞く。 ・ラララで旋律を歌う。 ・ラララで歌いながら、HRT の言っている歌詞を聞く。 ・何が聞こえてきたか答える。 ・言葉の意味を知り、歌詞で歌う。	・新しい歌を歌うことを知らせる。 ・ラララで旋律を歌う。 ・児童のラララに合わせて、歌詞を歌う。 ・ジェスチャー等で歌詞の意味を知らせる。 ・児童と一緒に歌う。	・児童と共に歌う。 ・聞こえてきた歌詞を児童と一緒に考える。 ・歌詞の意味のヒントを与える。	○何回か繰り返し聞かせることで、旋律を確実にとらえさせる。 ○歌詞は、はっきりと大きく発音する。 ○児童のつぶやきをひろいながら、歌詞の意味を全体で抑えていく。 ○曲に続きがあることを知らせ、次時への意欲を高める。 ◎CDプレーヤー、カード	
3 Word book (8分)	・ヒントを聞いて、該当ページを見つけたら手を挙げる。	・支援員と交代しながら問題を出す。 ・児童の中を周り、賞賛したり、補助をしたりする。	・ページを選び、ヒントを出す。 ・児童の中を周り、賞賛したり、補助をしたりする。 ・ヒントを出したい児童への補助を行う。	○わかったら「I know.」と言って手を挙げさせる。ヒントが出せたり、質問ができたりする児童がいたら積極的に指名し、児童同士でやりとりができるようにする。 ◎ Word book	
4 Let's try Unit 7 What do you want ? (20分)	<p>・黒板に絵をかきながら、「What's this ?」ゲームをする。 ・「Do you like ice cream ?」「What flavor do you like ?」と聞きながら、児童とやりとりをする。 ・となり同士で好きな味を聞き合う。 ・アイスクリームバンの写真と動画を見せる。 「What's this ?」「Do you know ice cream van ?」 ・HRT がアイスクリーム屋さんになり、支援員とデモンストレーションを行う。</p>			○途中で止めながら、児童に何を書いているかわからないようにして興味関心をひく。 ○全体で何人かとやりとりを行ったあと、隣同士でのやりとりを行わせる。 ○写真や動画を見せて、イメージを膨らませる。	

HRT : テテテー (歌を歌いながらアイスクリームやさんになる。)

JET : Excuse me !! I want ice cream !

HRT: Oh! Hello! Do you want ice cream ?

JET :Yes!

HRT: OK. Cone or Cup ?

JET : Cone please.

HRT:What size do you want ? Large medium or small ?

JET : (I want) Large please.

HRT : OK. What flavor do you want ?

JRT : I want chocolate.

HRT: Anything else ? How about other flavors ?

JRT : Ummm.. It's OK.

HRT: OK. It's 3 dollars.

JRT: Here you are.

HRT: Thank you. Here you are. Have a nice day ! !

- 店の人になりきって演じる。
- すべての児童に聞こえるように、ゆっくりと丁寧に発音することを心掛ける。
- ◎アイスクード
- ◎掲示物 (メニュー)
- ◎店員グッズ (帽子)

- ・ HRT と JET のデモンストレーションを見て状況を把握する。
- ・デモンストレーションでわかったことを話し合う。
- ・何人かの代表児童が自分の好きなアイスクリームを買う。
- ・「Please」「I want ~.」の使い方を知る。
- ・児童同士でお店屋さん買い手を行う。

- ・ JET とデモンストレーションを行う。
- ・デモンストレーションの内容をたずねる。
- ・ Do you want ice cream ? と尋ね、何人かの代表児童と一緒にもう一度デモンストレーションを行う。
- ・やりとりの中で、「Please」「I want ~.」の用語をおさえる。
- ・児童の支援を行う。

- ・ HRT とデモンストレーションを行う。
- ・出てきた内容に合わせて掲示物を貼る。
- ・アイスを買う児童に寄り添い、支援をする。
- ・児童の支援を行う。

- 聞きながら場面を把握させるために、あえてはじめから掲示物は出さない。
- 児童とやりとりをしながら、会話の内容を確かめていく。
- 黒板にカードを提示し、視覚的にも意味がわかるようにしていく。
- 欲しい物を言うだけでなく、「Please」「I want ~.」をつけることをおさえる。
- 慣れてきたら、児童にも店屋役を行わせ、「What ○○ do you want ?」の表現にも慣れ親しませる。
- ◆「What do you want ?」「I want ~.」「Please」を中心に、既習表現も使用しながら、欲しい食材を答える表現に慣れ親しんでいる。
【外国語への慣れ親しみ】

7 振り返り (5分)

- ・振り返りをワークシートに書く。
- ・次回の予告を知る。
- ・終わりのあいさつをする。

- ・本時の活動を価値づける。
- ・次回も欲しいものを伝えて、オリジナルの料理をつくることを伝える。

- ・終わりの挨拶をする。

- 欲しいものを言うときの表現をおさえ、学習の価値付けを行う。
- ◎ OOYA PASS